



2023. 11. 17

令和5年度現職教員研修（指導力向上研修） 研修の様子について

令和5年度筑波大学特別支援教育連携推進グループ現職教員研修（指導力向上研修コース）の研修の様子についてご紹介します。

令和5年10月16日（月）～11月15日（水）の期間に、令和5年度現職教員研修（指導力向上研修コース・短期1か月）の先生をお迎えし、筑波大学東京キャンパスでの講義・演習や、附属桐が丘特別支援学校（肢体不自由）での実践実習を行いました。

研修生は、青森県立むつ養護学校教諭の山崎雄吾先生です。今回、「障害の重い子供に対する自立活動の指導」をテーマに1か月の研修に臨みました。

東京キャンパスでは、附属学校教育局の雷坂次長、梶山教育長補佐、附属桐が丘特別支援学校長の篠塚先生による講義等を受講しました。

3週間の実践実習では、附属桐が丘特別支援学校の「自立活動を主とする教育課程」の学級に入り、重複障害の子どもに対するかかわり方の実際について学びました。自立活動の時間における指導を通じて、呼吸の大切さに着目し、「感覚を育てる学習」の必要性を感じた様子で熱心に実習に取り組みました。また、自立活動以外にも教科学習や進路指導等の講義・演習を受講したり、附属視覚・知的・自閉症の特別支援学校の参観をしたりするなど、充実した研修生活を過ごしました。

成果報告会では、実践実習で学んだことを勤務校でどのように生かしたいのかをスライドで発表しました。1か月の研修の成果として、雷坂次長より修了証書を授与されました。

勤務校での今後のご活躍を心より期待しております。

